



重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップや専門学校体験実習、清掃活動やボランティア活動などを通して、自己理解を深化させ、コミュニケーション能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら学ぶ学習態度を養い、基礎基本の定着と課題解決能力の醸成を図る。 ・ 自分探しと広い視野での進路選択に意欲的に取り組み、自己実現に向かわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々に社会的役割を自覚させる。 ・ 職場体験や各種の講話を通じて勤労観や勤労意欲を育む。 ・ 職業人の権利・義務・責任を理解する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会や職業生活・学問内容について理解を深め、社会生活に必要な教科学力をつけるとともに、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。 ・ 主体的に家庭学習に取り組む態度を養う。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育活動全体を通じて、自己を見つめ、他者を尊重しながら、自己の在り方生き方を主体的に探究し、自己実現を目指した実践力を育てる。
総合的な探究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「西陵タイム」…自己の進路に対する課題を見つけて、自ら考え、問題解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育てる。 ・ 小論文学習を通じて論理的思考を身に付け、社会的事象を理解する。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の集団生活を通して、集団への所属感を深め、コミュニケーション能力を高める。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路分析会を充実させるとともに、個々にきめ細かくキャリアカウンセリングを実施できる体制を整える。

各学年「西陵タイム」の取組内容	
1年	「進路自己探究Ⅰ」 ①進路目標を立てる ②自分を知る ③社会を知る(働く意味) ④学問・職業を知る→「科目選択」(文理選択) ⑤進路目標の設定 ⑥人生設計を立てる
2年	「進路自己探究Ⅱ」 ①自己理解 ②進路目標確認 ③科目選択 ④職業観育成 ⑤進路体験学習 (職場・大学インターンシップ、専門学校体験実習) ⑥進路実現に向けた具体的な目標 (受験の仕組み・内容・科目・偏差値等の調べ学習) ⑦進路意識の育成→出前授業
3年	「進路探究」 ①進路目標再確認 ②自己理解 ③進路実現のための能力・態度の錬磨 →進路実現への計画と模試・課外講習への参加 ④小論文・面接の個別指導 ⑤進路先訪問(職場訪問、オープンキャンパス等) ⑥進路実現への実践→主体的な進路課題学習

